



赤屋地区のイチオシ!

# まちの タカラ

## オオクニヌシが座った岩? ～断崖にある大岩“稚児岩”～



▲稚児岩付近の看板を用いながら解説する福田さん。  
◀下側から回り込んで撮影した稚児岩。岩は高さ70mの崖の上であり、その大きさは高さ20m、幅5mと巨大です。

伯太町上小竹から永江山を登った先、鳥取県との県境付近にある稚児岩。名前の由来は諸説あり、その昔赤子をそこから捨てたからという恐ろしいいわれもあります。古事記や出雲国風土記などで国譲り神話が語られる「大國主命」が、長江山（永江山）に来たときに寄ったことから「父の岩」と呼ばれ、それがなまって稚児岩になったという説もあります。

稚児岩を撮りに行くと赤屋交流センターに伝えたところ、職員の福田春夫さんが岩まで案内してくれました。県境まで進むと分かれ道があり、そこからは徒歩で向かう必要があります。歩いて行くのと2つに分岐した山道をいくつか目にするはず。福田さんは「永江山は伯耆国（鳥取県）」と出雲国とをつないだ、多くの人やモノが行き交う道でした。そうした中で鉄などを運ぶ牛や馬がすれ違うために2つの道に分かれています」と山全体の歴史についても解説されました。

地域の人は稚児岩の振興に積極的で、平成13年に岩の付近に東屋（休憩所）を設置したほか、看板の設置、案内パンフレットの作成、「稚児岩整備促進委員会」による年2回程度の草刈り（学校行事での登山等にあわせて追加実施）と、岩を見たいという人が訪れやすいよう活動しています。

## 編集後記

▼「古代出雲王陵の丘健康ウォーク」を取材した時のこと。自分もウォークを楽しみながら取材をしようと思ったのですが、通り過ぎる参加者の写真を撮ったら走って先回り、また写真を撮ってはまた走るの繰り返し。結局ほとんどの行程を走ることになりました。おかげで誰よりもいい運動ができた気がします(け)  
▼2日間かけ開催された「やすぎ刃物まつり」。市内外から刃物が集まる販売ブースでは、ポーズを取ってくださったり、包丁の種類を説明してくださったりと、気さくな店主さん達にお世話になりました。今号では掲載できませんでしたが、次回以降の刃物まつり開催の予告等ぜひお見せできればと思います(右)

安来市の人口と世帯数 R5.10.31現在

人口合計 / 35,894人  
(男:17,287人 女:18,607人)  
世帯数 / 14,261世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。  
●自治会宛の発送等については、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。